

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公開番号】特開2018-23594(P2018-23594A)

【公開日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【年通号数】公開・登録公報2018-006

【出願番号】特願2016-157338(P2016-157338)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月14日(2018.3.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技が可能な遊技機であって、

第 1 位置と該第 1 位置とは異なる第 2 位置との間で移動可能な移動体と、

前記移動体が前記第 1 位置から前記第 2 位置へ移動したときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を規制する第 1 規制部と、

前記第 1 規制部により前記移動体の移動が前記第 2 位置にて規制されたときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を前記第 1 規制部を介して規制する第 2 規制部と、

前記移動体と前記第 1 規制部との間で生じる衝撃を緩和する第 1 衝撃緩和手段と、

前記第 1 規制部と前記第 2 規制部との間に生じる衝撃を緩和する第 2 衝撃緩和手段と、を備え、

前記第 2 規制部は、前記移動体を支持するベース部に設けられていることを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(手段 A) 上記目的を達成するため、本発明の遊技機は、遊技が可能な遊技機であって、第 1 位置と該第 1 位置とは異なる第 2 位置との間で移動可能な移動体と、前記移動体が前記第 1 位置から前記第 2 位置へ移動したときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を規制する第 1 規制部と、前記第 1 規制部により前記移動体の移動が前記第 2 位置にて規制されたときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を前記第 1 規制部を介して規制する第 2 規制部と、前記移動体と前記第 1 規制部との間で生じる衝撃を緩和する第 1 衝撃緩和手段と、前記第 1 規制部と前記第 2 規制部との間に生じる衝撃を緩和する第 2 衝撃緩和手段と、を備え、前記第 2 規制部は、前記移動体を支持するベース部に設けられていることを特徴とする遊技機。この特徴によれば、移動体を第 2 位置において 2 つの規制部により好適に規制できるとともに、規制により生じる衝撃を、第 1 規制部と第 2 規制部との 2 箇所にて第 1 衝撃緩和手段及び第 2 衝撃緩和手段により分散して緩和できるので、衝撃

による負荷が移動体や一の規制部に集中して破損したりすることを抑制することができる

。

(1) 前記課題を解決するために、本発明の他の遊技機は、遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、第 1 位置と該第 1 位置とは異なる第 2 位置との間で移動可能な移動体（例えば、可動体 302）と、前記移動体が前記第 1 位置から前記第 2 位置へ移動したときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を規制する第 1 規制部（例えば、駆動体 310L, 310R）と、前記第 1 規制部により前記移動体の移動が前記第 2 位置にて規制されたときに該移動体の前記第 1 位置と反対側への移動を前記第 1 規制部を介して規制する第 2 規制部（例えば、カバー部材 307L, 307R の下部 336L, 336R）と、前記移動体と前記第 1 規制部との間で生じる衝撃を緩和する第 1 衝撃緩和手段（例えば、第 1 弾性部材 334L, 334R）と、前記第 1 規制部と前記第 2 規制部との間に生じる衝撃を緩和する第 2 衝撃緩和手段（例えば、第 2 弾性部材 335L, 335R）と、備える（例えば、図 8 及び図 9 参照）ことを特徴としている。この特徴によれば、移動体を第 2 位置において 2 つの規制部により好適に規制できるとともに、規制により生じる衝撃を、第 1 規制部と第 2 規制部との 2 箇所にて第 1 衝撃緩和手段及び第 2 衝撃緩和手段により分散して緩和できるので、衝撃による負荷が移動体や一の規制部に集中して破損したりすることを抑制することができる。